

修士論文

東京大学地球惑星科学専攻修士論文のタイトル

東大 地惑

東京大学大学院理学系研究科

地球惑星科学専攻

XXXX 科学講座

令和 X 年 1 月 XX 日 申請

要 旨

月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり。船の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、日々旅にして旅を栖とす。古人も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか、片雲の風に誘はれて、漂泊の思ひやまず、海浜にさすらへ、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巣をはらひて、やや年も暮れ、春立てる霞の空に、白河の関越えんと、そぞろ神の物につきて心を狂はせ、道祖神の招きにあひて取るもの手につかず、股引の破れをつづり、笠の緒付けかへて、三里に灸すゆるより、松島の月まづ心にかかりて、住める方は人に譲り、杉風が別所に移るに、草の戸も住み替はる代ぞ雛の家表八句を庵の柱に掛け置く。弥生も末の七日、あけぼのの空朧々として、月は有明にて光をさまれるものから、不二の峰かすかに見えて、上野・谷中の花の梢またいつかはと心細し。むつまじきかぎりは宵よりつどひて舟に乗りて送る。千住といふ所にて舟を上がれば、前途三千里の思ひ胸にふさがりて、幻のちまたに離別の涙をそそぐ。行く春や鳥なき魚の目は涙これを矢立の初めとして行く道なほ進まず。人々は途中に立ち並びて、後ろ影の見ゆるまではと見送るなるべし。

Abstract

Animals are happy so long as they have health and enough to eat. Human beings, one feels...

目次

第 I 部	序論	5
第 1 章	Introduction	6
1.1	研究背景	6
1.1.1	観測・室内実験	6
1.1.2	数値計算	6
1.1.3	理論モデル	6
第 2 章	研究手法	7
第 II 部	本論	8
第 3 章	結果	9
第 4 章	考察	10
第 III 部	結論	11
第 5 章	結論と今後の展望	12
	謝辞	13
付 録 A	計算の補足とか	14
付 録 B	補遺の場所	15
付 録 C	おまけ	16
	引用文献	16

第I部

序論

第1章 Introduction

1.1 研究背景

貸そうかな。まあ、あてにすんなひどすぎる借金

1.1.1 観測・室内実験

1.1.2 数値計算

引用例 [Yoshii and Sumino (2019), Yajima et al. (2020)]

1.1.3 理論モデル

対数正規分布は以下の関数で

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma x}} \exp\left(-\frac{(\ln x - \mu)^2}{2\sigma^2}\right)$$

とかける。

第2章 研究手法

春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月の頃はさらなり、闇もなほ、螢のおほく飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも、をかし。雨など降るも、をかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして、山の端いと近くなりたるに、烏の、寝所へ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど、飛び急ぐさへ、あはれなり。まいて、雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入りはてて、風の音、虫の音など、はた、言ふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるは、言ふべきにもあらず。霜のいと白きも、またさらでも、いと寒きに、火など急ぎおこして、炭持てわたるも、いとしきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も、白き灰がちになりて、わろし。

第II部

本論

第3章 結果



図 3.1: ERI, UTokyo

第4章 考察

じゅげむ じゅげむ ごこうのすりきれかいじゃりすいぎよの すいぎょう
まつうんらいまつ ふうらいまつくうねるところに すむところやぶらこうじ
の ぶらこうじパイポパイポパイポのシューリングンシューリングンのグーリ
ンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーのちょうきゅうめいのちょ
うすけ

第III部

結論

第5章 結論と今後の展望

謝辞

子曰、「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。六十にして耳順ふ。七十にして心の欲する所に従へども、矩を踰えず」。

付 録 A 計算の補足とか

付 録 B 補遺の場所

付 録C おまけ

引用文献

- [Yajima et al. (2020)] Yajima, S., Yoshii, K., and Sumino, Y., 2020, Aversion of pedestrians to face-to-face situations eases crowding, *Journal of the Physical Society of Japan*, **89** (7), 074003.
- [Yoshii and Sumino (2019)] Yoshii, K., and Sumino, Y., 2019, Delamination-induced fingering of an organic viscous liquid injected into an aqueous worm-like micellar solution, *arXiv preprint arXiv:1904.10673*.